

2010年度事業報告

(財)国際文化教育交流財団

1. 奨学事業

(1) 国際文化教育交流財団奨学生関係（日本人大学院生対象）

日本人海外派遣生に対して、(独)日本万国博覧会記念機構および(社)東京倶楽部の助成金を得て、奨学金を支給した。

① 2011年度奨学生の募集・選考

大学から推薦のあった6名の応募者に対して選考（書類選考：11月5日、面接選考：11月25日）を行い、当財団奨学生3名を選抜した。

② 奨学金の支給

奨学金の内訳は、授業料・教材費・生活費・語学研修費・渡航費・帰国旅費となっており、2007年度生1名、2008年度生1名、2009年度生4名、2010年度生4名、合計10名の奨学生に対して奨学金を支給した。

(2) SEIHO Scholarship 奨学生関係（アジア諸国からの学部私費留学生対象）

生命保険協会より当財団に寄付された基金の運用によって、アジア諸国からの奨学生を募集・選考し、奨学金を支給した。

① 2010年度奨学生の募集・選考

17大学から推薦のあった19名の応募者に対して書類での選考を行い（5月21日）、14名を奨学生に選抜した（その後、1名辞退）。

② 奨学金の支給

2009年度生14名、2010年度生13名、合計27名の奨学生に対して奨学金（月額5万円）を支給した。

(3) 見学会、新奨学生の紹介、懇親会等の開催

① SEIHO スカラーのための見学会の開催

SEIHO スカラーを対象に、10月21日に見学会を開催した。午前中は資生堂鎌倉工場を見学し、日本企業への理解増進に努め、午後は、浴衣の着付け、茶道等を体験し、日本文化への理解を深めた。

② 奨学生との懇親会を開催

奨学生、元奨学生（日本人・外国人）とその家族を招いて懇親会を開催し、新奨学生を紹介するとともに、当財団役員と奨学生との交流をはかった。

《6月25日》

日本人奨学生7名、外国人奨学生34名、奨学生家族6名、財団役員・来賓等24名、合計71名出席

《12月21日》

日本人奨学生5名、外国人奨学生27名、奨学生家族4名、財団役員・来賓等20名、合計56名出席

2. 会 議

(1) 理事会・評議員会の開催

事業計画・同収支予算、事業報告・同収支決算、当財団の重要問題を審議するため、理事会を3回、評議員会を1回開催した。

① 第68回理事会・第68回評議員会（6月25日）

役員改選、2009年度事業報告・同収支決算に関し審議し、可決した。

② 第69回理事会（12月21日）

公益財団法人移行後の最初の評議員の選任方法に関し審議し、可決した。

③ 第70回理事会（3月2日）

2011年度事業計画、同収支予算に関し審議し、可決した。また、評議員選定委員会に諮る評議員の候補者の推薦を行った。

(2) 諮問委員会の開催

第39回諮問委員会（1月19日）

2011年度奨学事業について議論した。

3. その他

(1) 国際文化教育交流財団奨学生の奨学事業に充てるため、日本万国博覧会記念機構に助成金の交付を申請した。

(2) 当財団の事業を紹介するため、『国際文化教育交流財団だより』を刊行した。あわせて、日本経団連機関誌『経済 Trend』に掲載している奨学生の体験記を、「国際文化教育交流財団奨学生体験記」として当財団のホームページで紹介している。<http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/ishizaka/taikenki.html>

以 上